

# 社会科学学習指導案

平成19年11月5日～16日  
第5学年 指導者 大澤 孝次

## 1 単元名 工業生産と貿易

### 2 単元の考察

#### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の内容「(2)我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする」に基づいて設定したものである。「次のこと」とは、「ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること」「イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き」を指している。

児童は、今までに我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解する学習として、「わたしたちの生活と食料生産」で「米作りのさかんな庄内平野」「水産業のさかんな枕崎市」「これからの食料生産とわたしたち」を学習した。そして、本単元の大単元である「わたしたちの生活と工業生産」の中で、「自動車をつくる工業」「工業生産と工業地域」を学習してきた。「自動車をつくる工業」は、日本の工業の特色であり、具体的な内容である自動車工業を取り扱うものである。「工業生産と工業地域」は、日本全体の工場の位置的な広がり、工場の業種、大工場と中小工場との違い、輸送についてなど、工業の学習を広げる内容である。これらの学習を受けて、本単元の学習を行う。

工業生産にかかわる貿易の特色は、従来からの加工貿易の考え方である工業製品の原料や燃料を輸入して、加工した工業製品を輸出することが挙げられる。加えて、近年は工業製品の輸入や日本の工場が外国に進出する現地生産についても押さえさせたい。また、工業生産にかかわる貿易の意味については、原料や燃料の輸入の必要性の他、日本に少ない製品や値段が安い製品の輸入がある。そして、日本の先端技術を生かした性能の良い製品の輸出で外国も豊かになれることで、世界の国々と助け合って豊かさを交換するしくみである。

また、この単元で児童に身に付けさせたい資質・能力は、工業生産を支える貿易の働きや日本と海外の関係について関心をもち、意欲的に追究し、貿易の特色や意味を考えることができるようになることである。さらに、貿易に関係するグラフや資料を読み取る力や分かり易くやすく表現する力、工業生産を支える貿易の働きや外国と互いに助け合って貿易をしていく必要があることを理解させることである。そのために、貿易の特色や意味について、四つの視点「貿易の様子や特色を考える」「貿易にかかわる人々の工夫や努力を考える」「貿易の役割や重要性を考える」「これからの貿易を考える」で段階的に多面的に考えるようにする。また、四つの各視点ごとに指導の工夫を取り入れる。

このように児童は、貿易の特色や意味を多面的にとらえ、これからの日本が世界の国々の中で貿易を通じて助け合っていくことが大切であると考えられることができるようになることと考え、本単元を設定した。

#### (2) 系 統

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	中学校
地理的な見方、考え方 ・空間的な結び付き	・バスや電車 ・品物はどこから ・キャベツの送り先	・水がくる道 ・県内の交通 空と海の交通 ・県の中心地	・米の消費地 への輸送 ・自動車輸送 ・貿易相手国 ・世界と結ぶ 放送	・遣唐使 ・朱印貿易 ・パイプラインと石油タンカー	地理的分野
歴史的な見方、考え方 ・原因と結果 (時系列的説明)	・商店街の活性化 ・水不足と溜池 ・キャベツの作業暦	・道具の改良とくらしの変化 ・河川改修と水田	・漁獲量の減少と輸入 ・輸出品の変化 ・生活変化と森の手入れ	・米づくりと村、国の誕生 ・朝鮮半島統一への願い	歴史的分野
公民的な見方、考え方 ・経済と生活	・店の工夫 ・特色のある店 ・キャベツ畑 ・おかし工場	・産業で使われる水 ・用水路と水田 ・交通機関と工場立地	・食糧自給問題 ・豊かさの交換 ・くらしの中のマーシャル	・稲作の始まりと村 ・経済高度成長とくらし ・最大の貿易相手国	公民的分野

反転文字は、本単元。

(3) 指導方針

貿易の意味や特色を多面的に、とらえることができるように、四つの視点「貿易の様子や特色」「貿易にかかわる人々の工夫や努力」「貿易の役割や重要性」「こからの貿易の在り方」から段階的に多面的に考えさせる。また、四つの各視点ごとに指導の工夫を取り入れる。さらに、各視点ごとに考えた内容を関連させて、発展的に考えられるようにする。

身の回りにおける工業製品やニュースなどを取り上げて、児童が生活と関連させて実感をもって考えられるようにする。また、既習事項とも関連させ、考えるヒントにする。

資料の活用では、ねらいに迫れるような有効な資料を用意し、提示する。導入や貿易の様子を考える場面では、児童が具体的なイメージをもてるように視聴覚資料や実物を活用する。また、人々の工夫や努力を考える場面などには、インタビューの資料を取り入れ、児童が共感的に考えられるように工夫する。

統計資料では、読み取りの基本的なポイント(題、単位、縦軸・横軸、最高点・最低点、変化など)を確認する。また、二つ以上の資料を比較する場面を設け、二つの資料を関連させてより深く考えられるようにする。

児童一人一人の考えを深められるように、グループで意見を交流する場面や全体で考えを発表する場面を設ける。その時に、まず自分の考えをしっかりとつことが大切であることから、自分の考えをノートに箇条書きでまとめるようにする。また、グループでの意見交流では、人数や進め方などを工夫し、活発な意見交流ができるようにする。

各時間にあててに対する自分の考えをノートに整理して書かせ、前時の内容を振り返り関連させて考えられるようにし、単元の最後には貿易の役割や特色についての自分の考えが簡単な文にまとめられるようにする。

各時間のめあてをしっかりと児童に確認させ、児童の考えの流れが逸れないようにし、各時間のねらいを追究できるようにする。また、各授業の初めに、その時間の学習の流れを確認し、最後に次時の予告をすることで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

地名が出てきたときは、必ず地図帳で位置を確認させ、地理的な見方・考え方を養うようにする。また、新しい用語や専門的な語について、全体で確認し、正確な意味をしっかりと押さえられるようにする。

3 単元の目標

原材料の確保など工業生産を支えている貿易の働きについて理解し、これからの日本は、世界の国々と貿易を通じて助け合っていくことが大切であると考えられることができる。

貿易の働きや世界とのかかわりについて、グラフや資料を活用して調べ、自分が考えたことを話し合いの場で発表することができる。

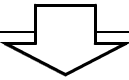
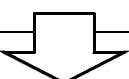
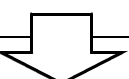
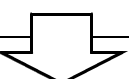
4 指導・評価計画

(1) 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	工業生産を支える貿易の働きや日本と海外の関係について関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。
社会的な 思考・判断	工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりに ついて考えることができる。
観察・資料活用の 技能・表現	我が国の貿易の特色や外国との関係について、グラフや資料を読み取 ったり、調べたことを分かりやすく表現したりすることができる。
社会的事象につい での知識・理解	工業生産を支える貿易の働きや外国と互いに助け合って貿易をしてい く必要があることを理解している。

(2) 指導・評価計画(全7時間)

貿易の意 味を考え る視点	数字：主な学習活動 ：学習活動 ・：学習内容	時 間	指導上の留意点	【評価の観点】 評価規準 (評価方法)
	1. 成田空港を通し て、貿易に関心 をもつ。 ・成田空港の概 要、貨物につい て	1	・成田空港に関する映像や統計資料を 用意し、日本の物流の拠点であるこ とを理解させ、日本の貿易に関心を もたせる。 ・貿易の学習に興味をもったことをノ ートに書き、学習のイメージを広げ る。	【関】 成田空港の物流 を通して貿易に 関する学習に関 心をもとうとし ている。(観察)
貿易の様 子や特色 を考える	2. 日本の貿易の様 子や特色につい て調べる学習を 通して考える。		・身の回りにおける工業製品調べをし たり、実物を観察したり、具体的にイ メージして考え、理解できるように する。	【思】 貿易の様子につ いて調べたこと を基にして考え

<p>貿易の様子や特色を考える</p> 	<p>日本の輸入の様子や特色について考える。          ・品目          ・量、額、割合          ・相手国・特色          日本の輸出の様子や特色について考える。          ・品目          ・量、額、割合          ・相手国・特色</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な資料の読み取りのポイント（単位、縦軸・横軸、最高点等）を必要に応じて確認する。</li> <li>・自分で資料を活用して調べること考え、理解を確実にできるようにする。また、必要に応じて個別に支援をしたり、全体で確認したりする。</li> <li>・授業の最後に、貿易の様子について自分の考えを箇条書きでノートにまとめ、自分の考えを確認できるようにする。</li> </ul>	<p>ている。          (観察、ノート)  <b>【技】</b>          資料を活用し貿易の様子を調べることができる。(観察、ノート)  <b>【知】</b>          貿易の様子や特色を理解している。          (観察、ノート)</p>
<p>貿易にかかわる人々の工夫を考える</p> 	<p>3. 日本の貿易にかかわる人々の工夫を、インタビューを通して考える。          ・現地生産に関すること          ・輸入品に対応する国内工場に関すること</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の様子や学習で理解した具体的な場面を想起しながら人々の工夫や努力を考えられるようにする。</li> <li>・既習の食料生産や自動車工業にかかわる人々の工夫や努力についての学習を想起して関連させて、貿易にかかわる人々の工夫や努力をより発展的に考えることができるようにする。</li> <li>・インタビューの資料を活用し、共感的に考えられるようにする。</li> <li>・授業の最後に、貿易にかかわる人々の工夫や努力について自分の考えを箇条書きでノートにまとめ、自分の考えを確認できるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思】</b>          貿易にかかわる人々の工夫について考えている。          (観察、ノート)</p>
<p>貿易の役割や重要性を考える</p> 	<p>4. 日本の貿易の役割や重要性を考える。          ・輸入では、足りない物や安い物が手に入る          ・輸出では、外国が日本の製品によって豊かになること</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の様子や貿易にかかわる人々の工夫や努力で学習した内容を基に総合的に考えられるようにする。</li> <li>・既習の食料生産や自動車工業の役割や重要性についての学習を想起して関連させて、貿易の役割や重要性をより発展的に考えるようにする。</li> <li>・身の回りにある輸入された製品や原料からできた製品等を想起し実生活とのかかわりをもたせ、実感をもって考えることができるようにする。</li> <li>・授業の最後に、貿易の役割や重要性について自分の考えを箇条書きでノートにまとめ、自分の考えを確認できるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思】</b>          日本の工業製品や工業技術が外国で役立っている等の貿易の役割や重要性について考えている。          (観察、ノート)</p>
<p>これからの貿易を考える</p> 	<p>5. 日本の貿易のこれからのあり方を考える。          貿易の問題があることを確認し、自分なりに考える。          ・貿易のルール          ・相手の国のことも考えること          貿易のあり方についての意見交流を行う。</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の役割や重要性で学習を踏まえて、発展的にこれからの貿易を児童なりに考えるようにする。</li> <li>・既習の食料生産の学習で消費者の立場に立つことや自動車工業の学習を想起して関連させ、これからの貿易を考えられるようにする。</li> <li>・テレビや新聞のニュースと関連させ実社会とのかかわりをもたせ、実感をもって考えられるようにする。</li> <li>・少人数のグループで話し合ったり全体で発表したり、お互いの考えを交流し考えを広げられるようにする。</li> <li>・授業の最後に、これからの貿易について自分の考えを箇条書きでノートにまとめ、自分の考えを確認できるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思】</b>          日本の貿易問題を踏まえて、これからの貿易のあり方について考え、友達と意見交流をし高めている。          (話し合い、ノート)</p>
	<p>6. 単元のまとめ、評価をする。</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに書いた貿易に関する四つの視点ごとの考えを生かして簡単なレポートを書かせ学習をまとめさせる。</li> <li>・できる限り思考についてもはかれるようなテストを作成し、実施する。</li> </ul>	<p><b>【思・技・知】</b>          工業生産と貿易に関する学習をまとめている。          (テスト)</p>

5 本時の学習

第1時の学習

(1) ねらい

成田空港が世界との物流の日本の拠点であることを通して、貿易に関する学習に関心をもつ。

(2) 準備

〔児童〕教科書(東京書籍) 地図帳(帝国書院) ノート、社会科資料集(青葉出版)

〔教師〕写真「貨物を積んでいる航空機」(成田エアターミナルのパフレットより)

ビデオ「スーパーエアポート成田」(成田国際空港株式会社)

資料「輸出貨物の流れ」「輸入貨物の流れ」「データで見る成田空港の航空貨物取扱量(2005年)」(成田エアターミナルのパフレットより)

資料の拡大図

(3) 展開

学習活動及び学習内容	時間	支援及び留意点	【評価の観点】 評価項目(方法)
<p>1. 今日の前あてを確認する。</p> <p>(1) 写真「貨物を積んでいる航空機」から、本時は成田国際空港の貨物について学習することを学ぶ。</p> <p>(2) 本時の前あてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>成田空港が日本の貿易の中心であることを知り、貿易の学習に関心をもつ。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「貿易」とは何かを確認してから、本時の学習に入る。</li> <li>・写真を提示することで、日本の貿易の多くは、航空貨物が利用されていることを視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・地図帳で、成田国際空港の位置を確認させる。併せて、高速道路や鉄道が通っていることも、確認させる。</li> <li>・本時の前あてを知らせ、本時の課題をつかむようにする。</li> </ul>	
<p>2. 成田国際空港の国際航空貨物について理解する。</p> <p>(1) 成田国際空港の貨物に関するビデオを観て、概要を知る。</p> <p>(2) 成田国際空港の貨物に関する資料を使って、航空貨物のしくみや様子を知る。</p>	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオによる映像資料を活用することで、イメージがつかめ、内容を理解しやすいようにする。</li> <li>・しくみについては、ビデオと関連させながら資料を使って、「輸出貨物の流れ」と「輸入貨物の流れ」を確認させる。</li> <li>・様子については、資料から、年間の総額、国内主要港での順位、取扱量の世界順位、主な相手国、主な品目を読み取らせるようにする。</li> <li>・資料から読み取りできない児童には、個別に支援をする。</li> <li>・資料から読み取った内容を全体で確認する。</li> </ul>	
<p>3. 日本の貿易の概略をつかみ、日本の貿易に関心をもつ。</p> <p>(1) 日本の輸出と輸入の資料(教科書)から、日本の貿易の概略をつかむ。</p> <p>(2) 日本の貿易に関する感想を発表する。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出と輸入のそれぞれの資料から総額、多い品目、割合を読み取らせるようにする。</li> <li>・輸出と輸入の二つの資料を比較し総額多い品目の違いに気付かせる。</li> <li>・資料から読み取りできない児童には、個別に支援をする。</li> <li>・発表できない児童には、自分なりの感想をもてるように助言する。</li> </ul>	
<p>4. 本時を振り返り、次時以降の予定を知り、見通しをもつ。</p> <p>(1) 本時を振り返り、ノートに感想やこれから勉強してみたいことを簡単にまとめる。</p> <p>(2) 次時の予定を知り、見通しをもつ。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の学習で興味をもったことをノートに書かせ、学習に対する関心を高めさせる。</li> <li>・感想や勉強してみたいことが書けない児童には、友だちの発表を参考にしたり、アドバイスをしたりして、個別に支援を行う。</li> <li>・次時の予定を知らせ、次の時間の授業のイメージをもたせる。</li> </ul>	<p>【関】 成田空港の国際貨物から日本の貿易の概要をつかみ、貿易の学習に対する関心をもとうとしている。 (観察、ノート)</p>

第2・3時の学習

(1) ねらい

貿易の様子や特色について資料を調べ、考え、理解する。

(2) 準備

〔児童〕教科書（東京書籍）、地図帳（帝国書院）、ノート、社会科資料集（青葉出版）  
〔教師〕資料、資料の拡大図、工業製品

(3) 展開

学習活動及び学習内容	時間	支援及び留意点	【評価の観点】 評価項目(方法)
<p>1. 今日のみあてを確認する。 (1) 本時のみあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">日本の貿易の様子や特色について考えよう。</div> <p>(2) 本時の学習の流れを確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の導入で貿易に対する高まった関心をもって、貿易の様子や特色について調べ、考えられるようにする。</li> <li>本時のみあてをしっかりと児童に確認させ、児童がねらいに迫る追究ができるようにする。</li> <li>見通しをもって学習に取り組めるように、本時の流れを確認する。</li> </ul>	
<p>2. 日本の輸入の様子や特色について考える。</p> <p>(1) 資料を活用して個人で調べ考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸入品目</li> <li>輸入量、額、割合</li> <li>輸入相手国</li> <li>輸入の様子や特色の変化</li> </ul> <p>(2) 各自で調べたことを基にして、様子や特色について全体で確認する。</p> <p>(3) 身の回りにある工業製品を使って、生活とのかかわりを確認する。</p>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の活用では、ねらいに迫れるような有効な資料を用意し、提示する。</li> <li>資料の活用について基本的なポイント（表題、単位、縦軸・横軸、最高点等）を確認する。読み取れない児童には、個別にアドバイスをする。</li> <li>特色「原料や燃料の輸入が多い」に気付けぬ児童に個別ヒントを出す。</li> <li>児童が自分の考えをはっきりさせるために、ノートに書くようにする。また、考えを整理して、考えたこと分かり易く、振り返れるようにするため、ノートに一つのことを一文の箇条書きにさせる。</li> </ul> <p>(2) 全体で、考えを発表し合い、児童が友だちの良い意見を参考にできるようにする。</p> <p>(3) 身の回りにある工業製品調べをしたり、実物を観察したり、具体的にイメージして考え、理解できるようにする。</p>	<p>【技】 資料を活用して日本の輸入の様子を調べることができる。 (観察、ノート)</p> <p>【思】 日本の輸入の様子について調べたことを基にして考えている。 (観察、ノート)</p>
<p>3. 日本の輸出の様子や特色について考える。</p> <p>(1) 資料を活用して個人で調べ考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸出品目</li> <li>輸出量、額、割合</li> <li>輸出相手国</li> <li>輸出の様子や特色の変化</li> </ul> <p>(2) 各自で調べたことを基にして、様子や特色について全体で確認する。</p>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な資料の読み取りのポイントを必要に応じて確認する。</li> <li>自分で資料を活用して調べることで考え、理解を確実にできるようにする。また、必要に応じて個別に支援をしたり、全体で確認したりする。</li> <li>児童が自分の考えをはっきりさせるために、ノートに書かせる。また、考えを整理して、考えたことを分かり易く、振り返れるようにするためノートに一つのことを一文の箇条書きにさせる。</li> </ul> <p>(2) 全体で、考えを発表し合い、児童が友達の良い意見を参考にできるようにする。</p>	<p>【技】 資料を活用して日本の輸出の様子を調べることができる。 (観察、ノート)</p> <p>【思】 日本の輸出の様子について調べたことを基にして考えている。 (観察、ノート)</p>
<p>4. 本時を振り返り、考えを整理し、次時の見通しをもつ。</p> <p>(1) 日本の貿易の様子や特色について、ノートに書いたことを整理する。</p> <p>(2) 次時の予定を知り見通しをもつ。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時を振り返り、ノートに書いた「貿易の様子」について、自分の考えを直したり、友達の意見を付け加えたりして整理し、次時に振り返ることができるようにさせる。</li> <li>次時の予定を知らせ、見通しをもって次時の学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	<p>【知】 貿易の様子や特色を理解している。 (観察、ノート)</p>

第4時の学習

(1) ねらい

貿易の様子や特色を理解した上で、貿易にかかわる人々の工夫について考える。

(2) 準備

〔児童〕教科書（東京書籍）、地図帳（帝国書院）、ノート、社会科資料集（青葉出版）  
 〔教師〕「現地生産」に関する資料、貿易にかかわる人のインタビュー資料、資料の拡大図

(3) 展開

学習活動及び学習内容	時間	支援及び留意点	【評価の観点】 評価項目(方法)
<p>1. 今日のみあてを確認する。                      (1) 前時の貿易の様子についての学習の内容を確認する。                      (2) 本時のみあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         日本の貿易にかかわる人々の工夫を考えよう。                     </div> <p>(3) 本時の学習の流れを確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の様子や特色の学習で理解した具体的な場面を想起しながら人々の工夫を考えられるようにする。</li> <li>・本時のみあてをしっかりと児童に確認させ、児童がねらいに迫る追究ができるようにする。</li> <li>・既習の食料生産や自動車工業にかかわる人々の工夫についての学習を想起して関連させて、考えるようにする。</li> <li>・見通しをもって学習に取り組めるように、本時の流れを確認する。</li> </ul>	
<p>2. <u>貿易にかかわる人のインタビューを聞き、どんな工夫をしているか考える。</u>                      (1) <u>現地生産など貿易にかかわる人々の工夫や努力に関するものを活用して、個人で考える。</u>                      ・「現地生産」の確認                      ・現地生産の利点                      （外国の技術向上、外国人の雇用確保、輸送費、時間の削減）                      ・「マザーファクトリー」について                      (2) 各自で考えたことを基にして、全体で貿易にかかわる人々の工夫や努力について確認する。</p>	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現地生産」について、全体で凡その内容について、資料を使ってきちんと確認する。</li> <li>・貿易にかかわる人々のインタビューを聞かせ、児童が共感的に考えられるようにする。</li> <li>・児童が自分の考えをはっきりさせるために、ノートに書かせる。また、考えを整理して、考えたこと分かり易く、振り返れるようにするため、ノートに一つのことを一文の箇条書きにさせる。</li> <li>・考えられない児童には、個別にアドバイスをする。</li> <li>・全体で、考えを発表し合い、自分の考えを深められるようにする。</li> </ul>	
<p>3. 本時を振り返り、みあてについての考えを整理し、次時の見通しをもつ。                      (1) 日本の貿易にかかわる人々の工夫について、ノートに書いたことを整理する。                      (2) 次時の予定を知り、次時の見通しをもつ。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、ノートに書いた「日本の貿易にかかわる人々の工夫」について、自分の考えを直したり、友だちの意見を付け加えたりして整理し、次時に振り返ることができるようにさせる。</li> <li>・次時の予定を知らせ、見通しをもって次時の学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	<p>【思】                      貿易にかかわる人々の工夫について考えている。                      （観察、ノート）</p>

第5時の学習

(1) ねらい

貿易が人々の生活に役立っている役割や重要性を考える。

(2) 準備

〔児童〕教科書（東京書籍）、地図帳（帝国書院）、ノート、社会科資料集（青葉出版）  
〔教師〕外国の人の話、資料、資料の拡大図、工業製品

(3) 展開

学習活動及び学習内容	時間	支援及び留意点	【評価の観点】 評価項目(方法)
<p>1. 今日のみあてを確認する。 (1) 前時の貿易の様子や貿易にかかわる人々の工夫についての学習内容を確認する。 (2) 本時のみあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">日本の貿易の役割や重要性を考えよう。</div> <p>(3) 本時の学習の流れについて確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の様子や貿易にかかわる人々の工夫で学習した内容を基にして、考えられるようにする。</li> <li>・本時のみあてをしっかりと児童に確認させ、児童がねらいに迫る追究ができるようにする。</li> <li>・既習の食料生産や自動車工業の役割や重要性についての学習を想起して関連させて、貿易の役割や重要性をより発展的に考えるようにする。</li> <li>・見通しをもって学習に取り組めるように、本時の流れを確認する。</li> </ul>	
<p>2. 外国の人の話を聞いたり、身の回りにある輸入品を再確認して、貿易がどんな役割や重要性があるかを考える。 (1) 貿易の役割や重要性にかかわるものを活用して個人で考える。 ・輸入は、日本に数が少ない物やない物を手に入れることができる。また、値段が安い物も手に入れることができる。 ・輸出は、日本の製品で外国が豊かになる。 ・貿易は、豊かさを交換するしくみである。 (2) 各自で考えたことを基にして、全体で貿易の役割や重要性について確認する。</p>	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある輸入された製品や原料からできた製品等を想起し実生活とのかかわりをもたせ、実感をもって考えるられるようにする。</li> <li>・輸出の役割や重要性が分かるような外国の人の話を聞き共感的に考えられるようにする。</li> <li>・児童が自分の考えをはっきりさせるために、ノートに書かせる。また、考えを整理して、考えたこと分かり易く、振り返れるようにするため、ノートに一つのことを一文の箇条書きにさせる。</li> <li>・考えられない児童には、個別にアドバイスをする。</li> <li>・全体で、考えを発表し合い、自分の考えを深められるようにする。</li> </ul>	<p>【思】 日本の工業製品や工業技術が外国で役立っているなど、貿易の役割・重要性について考えている。 (観察、ノート)</p>
<p>3. 本時を振り返り、みあてについての考えを整理し、次時の見通しをもつ。 (1) 日本の貿易の役割や重要性について、ノートに書いたことを整理する。 (2) 次時の予定を知り、見通しをもつ。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、ノートに書いた「日本の貿易の役割や重要性」について、自分の考えを直したり、友だちの意見を付け加えたりして整理し、次時に振り返ることができるようにさせる。</li> <li>・次時の予定を知らせ、見通しをもって次時の学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	

第6時の学習

(1) ねらい

日本のこれからの貿易のあり方を、貿易の役割・重要性を踏まえて、日本が抱えている貿易問題を通して考える。

(2) 準備

〔児童〕教科書（東京書籍）、地図帳（帝国書院）、ノート、社会科資料集（青葉出版）  
〔教師〕資料（貿易問題の載っている新聞記事）、資料の拡大図

(3) 展開

学習活動及び学習内容	時間	支援及び留意点	【評価の観点】 評価項目(方法)
<p>1. 今日のみあてを確認する。</p> <p>(1) 前時の貿易の役割や重要性についての学習内容を確認する。</p> <p>(2) 本時のみあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">日本の貿易のこれからのあり方を考えよう。</div> <p>(3) 本時の学習の流れについて確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の貿易の役割や重要性で学習した内容を踏まえて、発展的にこれからの貿易を児童なりに考えるようにする。</li> <li>・本時のみあてをしっかりと児童に確認させ、児童がねらいに迫る追究ができるようにする。</li> <li>・既習の食料生産の学習で消費者の立場に立つことや自動車工業の学習を想起して関連させ、これからの貿易を考えられるようにする。</li> <li>・見通しをもって学習に取り組めるように、本時の流れを確認する。</li> </ul>	
<p>2. 貿易問題を手がかりに日本の貿易のこれからのあり方を考える。</p> <p>(1) 貿易問題関係の新聞記事を通して、貿易問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易摩擦</li> <li>・安い輸入工業製品に対する国内工場の取り組み</li> </ul> <p>(2) 貿易問題を通して、これからの日本の貿易のあり方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易のルール</li> <li>・相手の国のことも考えること</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビや新聞のニュースと関連させ実社会とのかかわりをもたせ、実感をもって考えられるようにする。</li> <li>・児童が自分の考えをはっきりさせるために、ノートに書かせる。また、考えを整理して、考えたこと分かり易く、振り返れるようにするため、ノートに一つのことを一文の箇条書きにさせる。</li> <li>・自分の考えをもてない児童には、個別に貿易の役割・重要性や貿易問題から考えられるようにアドバイスする。</li> </ul>	
<p>3. これからの貿易のあり方についてグループや全体で意見交流をする。</p> <p>(1) これからの貿易のあり方について、少人数のグループで意見交流をする。</p> <p>(2) グループで意見交流したもののなかから、代表的な考えを全体に発表する。</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数グループでの意見交流で、一人一人の意見が生きるように、グループの人数を三人程度とする。</li> <li>・少人数グループでの意見交流が効率的にできるように、進め方を決めておく。</li> <li>・少人数グループでの意見交流が活発になるように、友達の意見に対して、必ず意見や感想を言うようにする。</li> <li>・全体での意見交流では、各グループの代表的な意見を発表させ、児童が参考にできるようにする。</li> </ul>	
<p>4. 本時を振り返り、みあてについての考えを整理し、次時の見通しをもつ。</p> <p>(1) これからの貿易のあり方について、ノートに書いたことを整理する。</p> <p>(2) 次時の予定を知り、見通しをもつ。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、ノートに書いた「これからの貿易のあり方」について、自分の考えを直したり、友達の意見を付け加えたりして整理し、次時に振り返ることができるようにさせる。</li> <li>・次時の予定を知らせ、見通しをもって次時の学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	<p>【思】日本の貿易問題を踏まえて、これからの貿易のあり方について考えている。（観察、ノート）</p>